



厚生労働省会議室にて

「厚生労働省にて」

総合ケアセンターサンビレッジ施設長

太田 澄子

厚生労働省にてサンビレッジ新生苑の

取り組みを説明

平成15年1月30日厚生労働省の二室、中村老健局長はじめ、熱心なスタッフ25名ほどに施設の取り組みを説明させていただきました。

介護保険が導入され、高齢者施設のあり様がどんどん変化してきており、より在宅化することで一人一人の生活の回復と創造が求められています。その中で当苑は常に利用者主体を視点に生活支援を進めてきました。そこから見えてきた『ホームはアパート』と考えたユニットケアや公民館援助法、その推進のための職員研修システム、介護の専門性を活かしたアセスメント入所の取り組みを発表しました。

福祉の歴史のページは今も創られています。福祉の現場を担う我々が限られた財源の中で高齢者の為にどう使命を果たすか？先陣をきって次々と施策を打つ中央省庁と二つになって長寿社会のあり方を構築していくことが出来れば、それは高齢社会の安心につながるものと思います。

介護保険の遂行の為に

～アセスメント入所の取り組み～

サンビレッジ宮路部長 桑原 陽

介護保険が施行されて3年が経過しようとしています。

契約制度となった介護保険において施設入所志向が一層高まり、どの介護福祉施設も入所待機者が大勢おられます。しかし、今一度介護保険の理念を思い起こすと「自立支援、自己決定、在宅生活の継続」です。デイサービスでの勤務経験から、お年寄りの多くも出来るだけ長く自宅で暮らしたいと望んでおられます。

ケアマネジャーはケアマネジメントの過程において利用者や家族の抱える課題は理解出来ても、効果的なサービスの組み合わせ方に悩んだり、課題解決が困難と感じ

る場合も多くあります。施設サービスと違い、在宅サービスも多くは一日の生活をスポット的に援助するものであり、利用者の24時間の生活を把握しにくいことがその一因として考えられます。

そこで私達は、ケアマネジャーの抱える課題解決の一助とすべくアセスメント入所というサービスを開発しました。アセスメント入所とは耳慣れないサービスだと思えます。対象の方に二月から一月半サンビレッジに入所していただき、介護士や看護師、言語聴覚士、作業療法士、臨床心理士、栄養士等がそれぞれ別の専門領域からアセスメントし、在宅での困り事

の解決に向けたサービスです。

ケアマネジャーをはじめ、利用者本人やご家族、在宅サービス事業者も交えた中間カンファレンス、退所オリエンテーションを行い、施設の専門性を在宅に活かしてもらうべく話し合いをします。介護福祉施設におけるアセスメント入所は、病院でいう検査入院のような機能です。

アセスメント入所はサンビレッジが持つ機能を生かし、その専門性を在宅に還元するものであり、サービス対象地域はありません。遠方であっても、その地域の在宅サービス機能を活用したアセスメントを行っています。

その他、病院退院直後に家族介護者が抱く不安を解決する為のホームケアサービスや、生活支援リハビリサービスを在宅支援サービスを用意しています。



▲生活支援リハビリ



▲家族との中間カンファレンス

地域と共に暮らして、

ホームはアパート感覚で

アクティビティリーダー **金森 美江**

ユニットレクリエーションについて

～公民館方式～

老人に対して、あなたはどんなイメージがありますか？と尋ねるとたいいていの方は暗いイメージがあるとおっしゃいます。しかし、サンビレッジ新生苑に見学にこられた方は皆さん『明るくて、お年寄りの方が生き生きとしておられる』と言って下さいます。サンビレッジ新生苑は、『ホームをアパート』と考え利用して頂いております。入所なさる利用者の方には住み慣れた家があり、ホームはアパートと考えご利用頂く。そこで、地域住民の方が公民館へ通い、好きな仲間

と楽しい時を過ごされるようにホームに入られても自分の意志で好きなこと、得意としていることを、アクティビティとして用意し気のあつた仲間と一緒に過ごす、そんな生活をホームの中で、あるいは地域の中で実現できるよう考えた取り組みが公民館方式です。

施設内の色々なスペースを利用し、デイサービスを利用される地域の方と一緒に編み物をしたり、将棋をさしたり、お参りをしたり、洗濯物をたたんだり、お茶を楽しんだり等、好きな場所です。馴染みの仲間と語らう。また、時には町内の行事や図書館に出かけて行ったり、

ショッピングや外食にも出かけ在宅で暮らしておられた生活の継続を考えています。現在は、利用者の方一人一人のニーズに応じたメニューの拡大を図る為にその方の強味に着目し、個別ケアを推進し実践しています。

その為に、職員の育成、ボランティアの研修を行い質の高いケアに努めていけたらと考えます。また、第三者評価システムや自由な生活の裏に起こりうるリスクマネジメントのシステムを確立し、より良い暮らしの提供が出来るよう努力していきたいと思えます。

公民館方式により、利用者の方が気の合った仲間との交流により社会性の回復につながり、その中で自分の生活を自己決定する幸福感を得、その実践が生活力の回復(自立支援)にも繋がっているのではないのでしょうか？

また、その方の望む暮らしや自由気ままな生活がその方らしい生き方に繋がりが満足感が表情に現われるものと考えます。



▲柿がり



▲花もちづくり

田中真紀子さん来苑

前外務大臣の田中真紀子さんが去る1月26日サンビレッジ新生苑を訪問されました。当日の新年寄りの歓迎ぶりは、旧知の友を迎えるような暖かいものでした。車椅子を自走できる人は彼女の周りに集まられ、それが出来ない人は田中さんを手招きされ、握手をし、「生きているうちに会えてよかった、よう来てくんさったな」「何が、何が、お元気で・・・」。田中さんは丁寧目線が合うよう中腰になられ、一人一人と言葉を交わされました。田中さんとホームとは教員を目指す学生の福祉現場実習の義務化を法制化された折、私どもの意見を聴講頂いた時よりのお付き合いで、年末には新潟のお酒を屠蘇にと頂いておりました。この日はお年寄りが思わぬ「老人力」を発揮された一日でした。

～田中真紀子さんへ～

先日は遠い所をおい出下さって有難うございました。テレビでは何時もお目にかかって居りましたが、今までは雲の上の人と思っ て居りましたのに、目の前に見え 色々と話も聞いて下され、こんな うれしい事はありません。また、 私の作った人形も持つて行つて下 され有難さこの上なしです。これ からも体に気を付け頑張ります。

サンビレッジ在住 斉藤つなえ



▲田中真紀子さんと語り合う御利用者

～サンビレッジの皆様へ～

前略 かねてよりおたずねし たいと願っておりましたサンビレ ッジは、私の想像を遥かに越えた 良い環境と、それに優る人材の集 う施設でございました。お年寄り一人一人が尊重されて いるということはその表情を一目 見ただけで判りました。ヘルパーさんの動きの良さや温 かい心遣いは自然そのものとお見 受け致しました。

この仕事は誰にでも出来るも のではなく、御苦労の程が痛い程 わかるだけに県や行政の理解と 協力が重要と、改めて考えつつ帰 路につきました。

〇〇さんお手製のカサは私共 の居間に、そして他のご婦人方か らのお雛様と手毬は両親のお仏 前に供えさせていただきます。

.....(中略)

お寒さ厳しき折、皆様様日々 もお大切に遊ばして下さいませ。

田中真紀子

日本自転車振興会競輪補助事業完了のお知らせ

このたび日本自転車振興会から、平成十四年度補助金の交付を受け、左記の事業を完了いたしました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、日本自転車振興会を始め、ご協力を賜りました関係各位に対し謹んで感謝の意を表します。

記

- 一、事業名 平成十四年度 特別養護老人ホーム建築補助事業
- 二、事業内容 痴呆棟改築工事
- 三、補助金額 二十七十万円
- 四、実施場所 岐阜県揖斐郡池田町本郷 一五〇番地

特別養護老人ホーム

サンビレッジ新生苑

五、完了年月日 平成十四年十二月二十日

社会福祉法人 新生会

理事長 石原美智子

新しいデイセンターへの寄付

福祉車両助成事業において日本財団よりダイハツムーヴ1台を寄与されました。デイサービスセンターちやぼぼにて地域福祉の向上に役立てます。

